

紙面から

教育随想

「子育てに思う」

岡崎市教育委員会
教育委員長職務代理者

仲井 さち 氏

この人に聞く

リトグラフの刷り師

深見 充彦 氏

特集

心の風景から潤いを

岡崎市美術博物館

師弟同行

平野 安世・武田 正道

フォト・ヒストリー岡崎の教育

三・四年生歓迎式(昭和五十一年)



8 月号

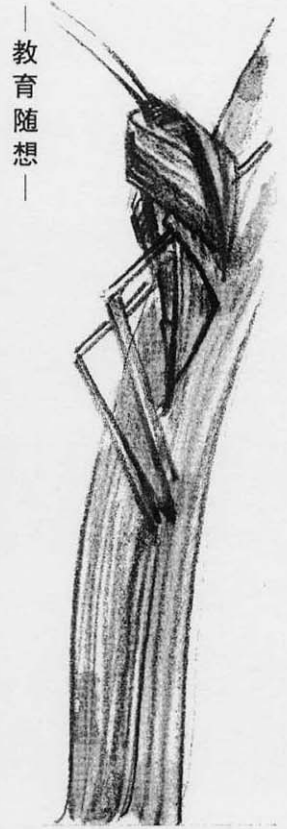
平成10年 8月1日

発行/編集

岡崎市教育委員会



(夏ってうれしい— 竜美丘小)



—教育随想—

子育てに思う

岡崎市教育委員会
教育委員長職務代理者

仲井 さち

二歳六か月になる孫は、今「登園拒否」に近い状態にある。

仕事を続けたい母親の希望で、一歳四か月から川崎市内の保育園に入園した。すべてが順調とは言えなかったが、幸い先生と友達に恵まれて、一か月程で保育園での生活を楽しむことができるようになった。

今年四月、二歳四か月で進級。排泄は完全に自立し、箸も使えるようになり、おしゃべりで乗物好きの男の子として成長してきた。

一人ではなく、皆と一緒にだからできるようなったのであり、集団の教育力の大きさを改めて感じ入るとともに、子どもたちに深い愛情を寄せ、教え導いてくださる先生方に感謝の日々であった。

六月中旬のある日、先生方が吹き込んだ「赤ずきんちゃん」のテープを聞く機会があった。狼のセリフが始まり、こわくて泣きだしたことがあってから、「先生のお家には狼がいるからこわい」と訴えて登園をいやがるようになった。

一歳四か月まで、母親にしっかりと抱かれて育ち、何の不安も感じなかったのに、ある朝、見知らぬ人の手に渡され、見知らぬ所に置かれた子どもの心に大きな不安が生じたのも無理からぬことであり、その不安が尾を引いていて、今のような状態になったのかもしれないと考えた。

いっそのこと分別のつかない赤ちゃんの時か、社会性の芽生える三歳ほどになってからであれば問題は起

きなかったのではないかと思ったりもした。仕事を止めることもやむを得ないと覚悟をしながらも、母親の気持ちは複雑であった。

働くことが当然であるときみなされてきた男性と異なり、「仕事か、子育てか」という選択は今の時代も多くの女性に問いかけており、働く道を選んだ女性には「仕事と家庭の両立」という言葉で、子育てのありようも含めてさまざまな評価が下されている。

子育てはどんな形をとったにしても悔いを残すものであると思うが、とりわけ、仕事を続ける女性にとって、その思いは深い。どちらかを選ぶことができる女性の立場はしあわせであるとする見方もあるが、選んだ結果にも深く心を悩ませ続けるものである。

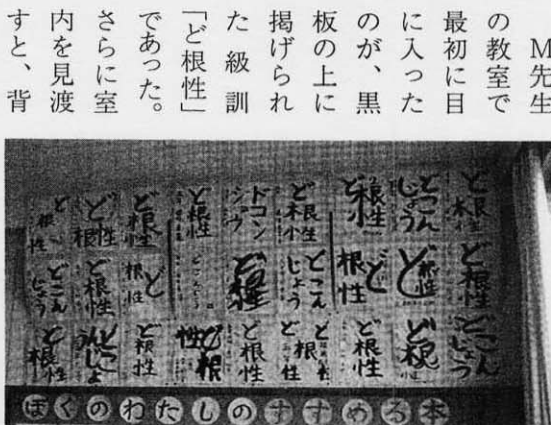
家庭が見直されるという時代の流れと平行して、女性が職場や地域社会で能力を発揮する機会が今後確実にふえていくであろう。育児休暇期間の問題も含めて、子どもにとってよりよい生育環境を多くの選択肢の中から、親が選ぶことができるようになることを心から願っている。

(なかい さち)

環境が人を造る

道德指導員

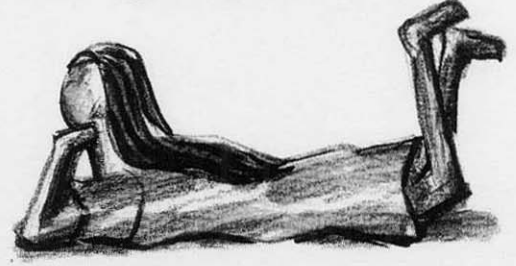
石井 洋



M先生の教室で最初に入ったのが、黒板の上に掲げられた級訓「ど根性」であった。さらに室内を見渡すと、背面の掲示板上にも個性豊かな「ど根性」がならんでいる。数えると、学級の人数とびつたりと重なる。級訓を決めた後の書写の時間にみんなで書いたのである。それにしても元気がよい。学級作りに対する個々の意気込みと、その思いを大切にする教師の心がひしひ

ふるさとシリーズ

この心は聞く



リトグラフの刷り師

深見 充彦 氏

国道二四八号から少し東にそれた鴨田町の一角に、あか抜けた黒い工房が建っている。中部地方には数少ないリトグラフの刷り師である深見充彦氏が、その「広元版画工房」の代表である。刷り師とは、作家の作品をリトグラフとして刷る、言わば、芸術家と職人の中間に位置する重要な役割を担う人である。

元々は、教師を目指して愛知教育大学で美術を専攻されていたという。「教育実習に行つて、自分は先生に向いていないと思つたんですよ。親は、長男だから、先生になつて

休みの日は家のたんほでも手伝つてくれればいいと願つていたようなんですが。」

刷り師を生涯の仕事と決められた訳はお聞きすると、

「大学ではエッチングをやつていました。そのとき、リトグラフの作家のところへ勉強をしに行つたんです。そこで、おもしろいなと思うようになり、先生にはならないと決めるとき、刷り師をやつていこうと思つたのです。」

長野県で修行した後、アメリカで半年ほど勉強し、一九八七年に岡崎に工房を構えられた。

「独立したばかりのころは仕事がなく本當に困りました。仕事の内容を分かつていただくにも、自分の手掛けた作品がないのですから。」

そのころ、壁一面もある大きな油絵を縮小してリトグラフにする仕事を依頼され、半年がかりで仕上げられた。その後、少しずつ仕事の依頼がくるようになり、星野富弘さんなど有名な作家の作品も手掛けるようになったそうである。

刷り師の仕事の難しさは、「作家の表現したいことを探り当てるまでがたいへんですね。作家の個性を生かすために、自分の個性を伏せること。自分を表現したい人には向いていない仕事。」と話される。

「見る側が育たないと文化は育たない。生活の中に入り込んでいくような美術の授業をしてほしい。」

とも。物静かに話される深見氏だが、刷る場面では技術者としての自信にあふれた仕事ぶりを見せてくださった。お話を伺つている間ずっと、パートナーとして共に仕事をしてきた奥様にも意見を求められる姿が印象的であった。同じ夢に向かって苦勞を分かち合つてきた絆の強さが、お二人の雰囲気から感じられた。

氏 名 ふかみ みつひこ
生年月日 昭和三十三年十月十四日
住 所 岡崎市鴨田町字広元七九



しと伝わり、実に温かい。

「環境が人を造る」という言葉がある。個を取り巻く環境には、教師や級友などの人間、学校施設、設備等が含まれる。無意識ではあるが、毎日接するものであるだけに、道徳性の発達に与える影響は極めて大きいと言わざるを得ない。

室内掲示に関して言えば、自分を見つめるゆとりを確保し、空間的なゆとりをもたせるにも、子供にまかせる揭示も考えてみたい。子供が自由に空間を活用できるといふことは、心理的なゆとりをもたらすし、そこに家庭や地域で自主的に集めた情報の発表の場等を設ければ、さらに生活空間は広がり、いっそう伸びやかに生活できるようになる。

心の教育の充実をめざして、道徳の時間の授業をこく当たり前のように毎週行い、各教科・領域における道徳教育を充実させるだけでなく、子供の道徳性を伸ばす環境整備にもぜひ心を配りたいものである。

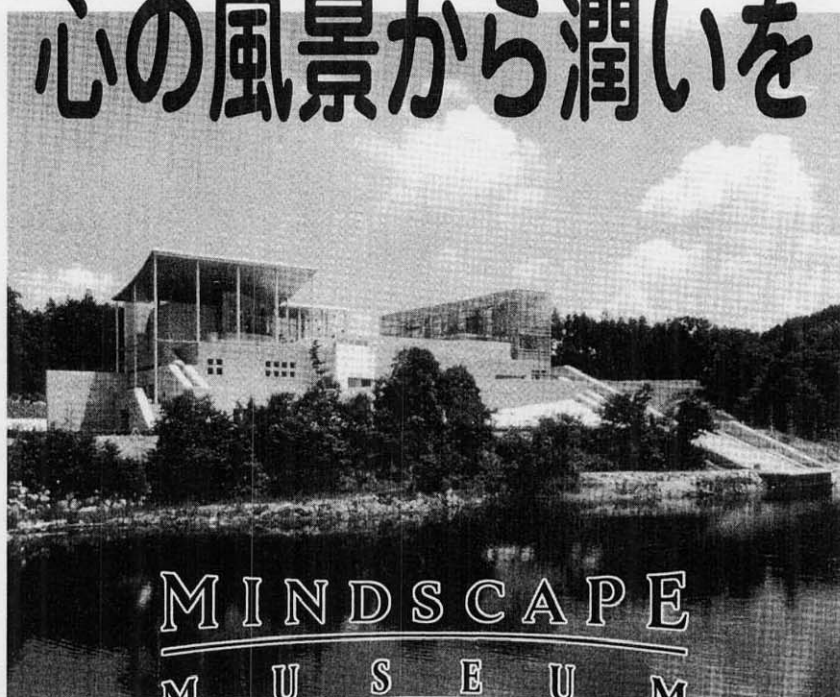
【推薦する専門書】

『葛藤のある道徳指導』 黎明書房

『総合単元的道徳学習論の提唱』

ぶんけい

心の風景から潤いを



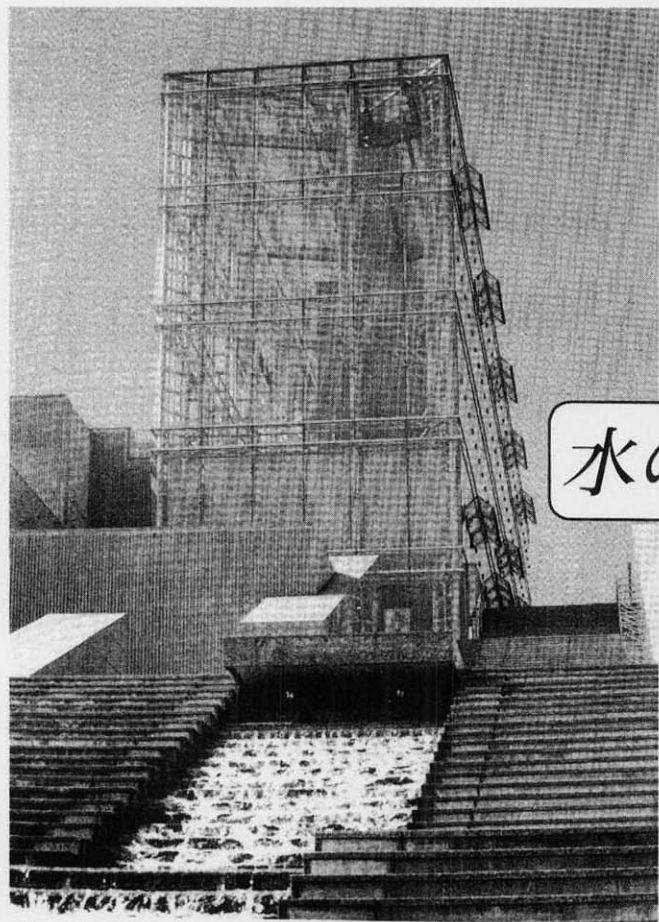
MINDSCAPE
MUSEUM

岡崎市美術博物館

「美術館の中は、じっくり鑑賞していただけますが、館の周りまで見ていかれる方は少ないようです。三河の人はどうもせっかちですね。」
お話を伺った学芸課の太田さんの言葉が印象に残る。ここ岡崎市美術博物館は、まさに日々の忙しさを乾いた心を潤してくれる空間であり、周囲と融合した風景(MINDSCAPE)となっている。

平成八年七月の開館以来、累計十三万人余の入場者を数えるまでになった。中央総合公園の野球場の東隣に入ると、超モダンな建築物が忽然と現れる。

恩賜池より見た美術博物館全景 ▶



▲ アトリウムを臨む階段の滝



▲ 恩賜池に浮かぶ睡蓮の浮橋



▲ ミストサークルの霧の中ではずむ声

外観からはガラス張りのアトリウムとレストランシカ目にする事ができないが、これはあえて周囲の緑豊かな自然と融合させるための配慮であろう。今しばらく周囲に目を凝らすとさまざまな「心の風景」が見えてくる。

風の道——巨大な風車と並木のコントラストが美しい。晴れた日には三河湾や名港トリトンまでもが見通せる。

水の道——正面入口や階段に流れる滝は、清涼感を与え、人工池のモニュメントから噴射される霧とたわむれる子供たちの姿は、風景画の一部のようだ。恩賜池へと続く「水の道」は、自然とともにゆったりとした空間に浸ることができる。

館内に入ると、ゆったりとした展示スペースと間接照明の美しさによって鑑賞する人の気持ちを和らげている。現在は九月六日までの予定で「シユルレアリスムの巨匠展」が開催されている。ダリ、エルンスト、ミロなどの作品を中心とした、かなり大掛かりな企画展である。内容的には小学校高学年から中学生なら十分鑑賞できる。

冒頭に紹介した太田さんの話によると、「子供たちにもどろん美術博物館を訪れてもらい、本物の芸術にふれ、鑑賞のマナーを学ぶ機会にしてほしいと願っています」とのこと。また、授業の一環として利用する場合、割引があるので事前に美術博物館に連絡してほしいというお得な情報もいただいた。

心の潤いを取り戻したい時、ぜひ岡崎市美術博物館を訪れてみてはいかがだろうか。

風の道



▲ 快く響く風車の音

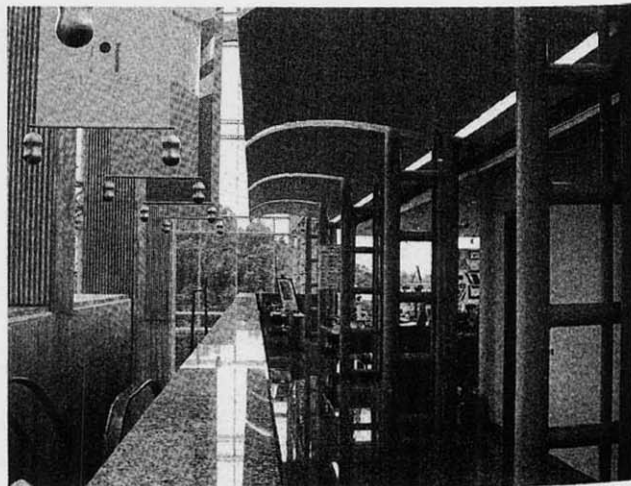


▲ 触れて確かめる椅子のモニュメント

展示室へ



▲ 迫力十分の展示室



▲ 光が踊るアトリウム



調和の難しさの中で

福岡中学校

小田喜代美

「グループ行動は班長が大変だから、私は先生の引率で並んでいきたい。」

春のウォークラリー遠足。幾度かの級長会での席上、M子だけはグループ行動を頑強に拒否し続けた。最後は多数決で決定となったが、いつまでも浮かない表情のM子が気がかりであった。当日。出発を待つ彼女にそつと聞いてみた。「グループ行動、心配？」

「まあ、見てて、先生。」と返す言葉が弾んでいる。何かあったんだ、きつと。

最後のチェックポイントの勝鬘寺。一・五リットルジュースを、班員五人、頭を突き合わせてストローで吸い合う。ストローは一メートル弱のビニルすだれだ。



「よおし、みんな。これが最後。飲むよっ。」

と班員男女をリードするM子。出発前の『まあ、見てて』が強く心によみがえってきた。

「班長だから楽しめないって思わずに、班の子に楽しんでもらおうって考えるようにしたら、急に遠足が楽しみになってきた。だって、先生たち言ったでしょ。『それが班長』って。大変なのが班長、でしょ。先生。」

「急ごう。行くよ、みんな。」調和の難しさの中で調和の喜びを勝ち取ったM子であった。

師弟同行

ばかになつて

矢作北中学校

武田 正道

目に鮮やかな緑と琴線に響く野鳥の鳴き声に囲まれた、須渕での生活、いかがお過ごしでしょうか。

先生には、三年間の技術と中一、三と担任をしていたいただきました。技術の授業は、私の学習意欲をかき立てる、大変楽しい時間でした。

最後に、最後まで頑張る級友について、先生が述べられた言葉は今でも覚えています。それは、「人として、ばかになつてやる時もある」というもので、私の金言になつていきます。「どうせ」と言った私の弱音を前向きにさせてくれる言葉でした。



持っている生徒だったように思います。「ばかになつてやる」という部分は、私に必要であるというご指摘でした。私の足りない部分を補つてくれる言葉であると感じました。

今の私が「ばかになつて」教員をしているかといえば、恥ずかしいかぎりです。しかし、現実に対して、後ろ向きになる自分にとって、今でも励ましてくれるたのもしい先生のお言葉は、忘れません。

夢の実現を

岡崎市少年自然の家所長

平野 安世

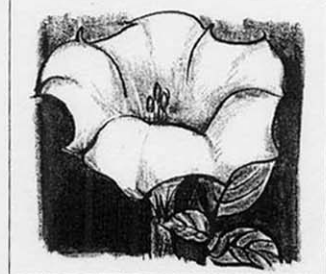
当時の私は、授業時数が週に二十七、八時間もありません。「楽しい学習・次時が楽しい授業」を目指し、教具や指導法を工夫して、教科指導に打ち込んでいました。それだ

けに、担任として機会をとらえては、学級づくりや生徒理解に努めていました。

温厚で沈着冷静な武田君には、リーダーとしての積極的行動を望んでいました。校内水泳大会では、クラスが団結して応援も盛り上がり、泳ぎが苦手な級友が頑張ったことも覚えております。文中のことは、その選手選出・応援や反省などを話し合ったときのことだと思えます。

高校生のころから障害児教育に関心を持っていた武田君には、その夢や抱負があることと思えます。同じ教職の道を選ばれたことを大変うれしく思いました。さらに、特殊学級の指導に情熱をかけ、熱心に指導されており、素晴らしいことで感心しております。特殊学級の担任として、基本的な生活習慣・基礎学力・進路指導・卒業後の相談など、心労の多いことと思えます。一人ひとりを思いやり、可能性を引き出し、伸ばしていただく。ますますのご活躍を期待しております。

お知らせ



◆平成10年度環境月間県民のつどい

・地域環境美化功績者表彰
城北中学生徒会「ねずみグループ」

・環境保全ポスター入賞

二席 甲山中二年 矢込光代
甲山中三年 加藤克実

◆第二十四回交通安全こども自転車岡崎地区大会

優勝 竜美丘小学校A
二位 大門小学校A
三位 梅園小学校A

◆ライオンカップ第十八回全日本小学生バレーボール大会
愛知県大会

男子 優勝 矢作北
二位 上地小クラブ
女子 優勝 山中J

◆平成10年度緑化推進・動物愛護児童生徒作品展
・描画・ポスターの部

●第42回岡崎市中学校総合体育大会

水泳競技の記録

★新記録

性	種目	氏名	校名	記録
男	50m自由形	松原 圭	甲山	28"5
	100m自由形	村松 秀都	南	1'01"4
	200m自由形	松原 玄樹	甲山	2'14"3
	100m平泳ぎ	長坂 幸俊	南	1'15"6
	100m背泳ぎ	中村 亮太	竜海	1'09"5
	100mバタフライ	浅井 敦史	北	1'07"2
	200m個人メドレー	神谷 亮一	矢作	2'35"0
子	400mリレー	松原、島田、林、松原	甲山	4'12"0
	400mメドレーリレー	河田、長坂、村松、佐々木	南	4'40"9
男子総合 1 南 2 甲山 3 矢作				
女	50m自由形	亀山 淳子	矢作	30"3
	100m自由形	森田 華奈	城北	1'05"6
	200m自由形	藤 墳 ゆかり	竜海	2'23"0
	100m平泳ぎ	橋本 佳奈	南	1'22"0
	100m背泳ぎ	黒柳 瑛子	城北	1'12"5
	100mバタフライ	田代 歩巳	北	1'09"5
	200m個人メドレー	前沼 恵理香	美川	★2'33"6
子	400mリレー	山本、大塚、中山、佐藤	葵	★4'25"7
	400mメドレーリレー	黒柳、杉山、森田、小野田	城北	★4'58"1
女子総合 1 葵 2 城北 3 甲山				

◆親善訪問使節団派遣
岡崎市は、姉妹都市である

〈教員〉 市教委 岩城 冬子
葵中 大塚 美幸
南中 田口 祥子
城北中 城殿 幸作

◆全日本少年軟式野球大会
県大会優勝 南中学校

東海大会準優勝 南中学校

◆第三回愛知県ジュニアユースサッカー選手権大会
優勝 竜南中学校

（生徒） 甲山中 伊藤 雄太
城北中 城殿 幸作

市長賞 美合小二年 米津知奈美
大門小五年 市川 紗織
南中二年 小栗奈津子

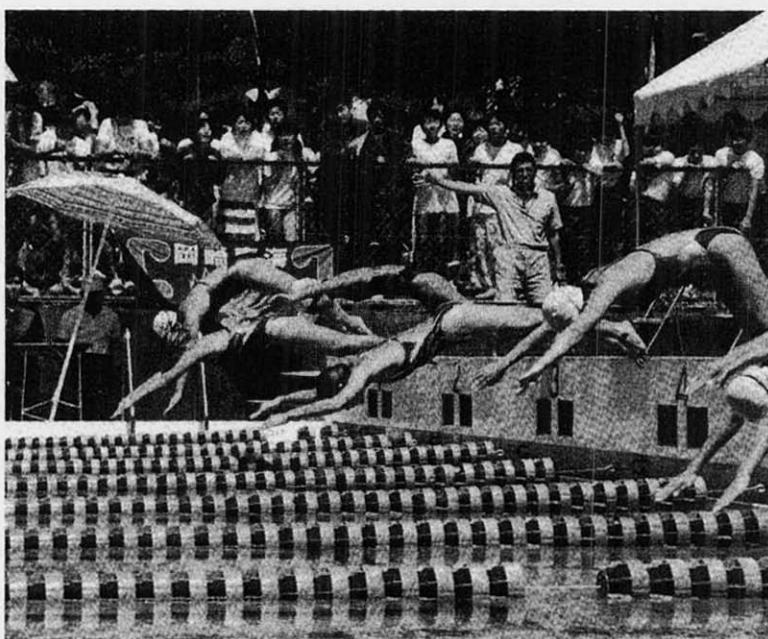
米・ニューポートビーチ市へ今年も中学生親善訪問使節団を派遣する。結団式が六月二十二日に行われた。

習字の部
市長賞 男川小三年 沢田 歩
附属小四年 岡田 真奈
北中一年 市川 友博
新香山中三年 成瀬 一成

一行は九月三十日に出発し、現地の中学校を訪問して一緒に授業を受けたり、ホームステイなどを通して市民との交流も深める予定。使節団は、次の皆さんです。

●平成10年度夏期実技講習会

教科・領域	期日	会場	人数
国語（書写）	7. 31	岩津市民センター	50
社会	7. 31	中部電力浜岡原子力発電所	50
算数・数学	7. 31	六ツ美市民センター	50
理科	7. 31	緑丘小学校・緑丘市民ホーム	55
生活	7. 31	井田小学校	70
音楽	8. 4	市民会館リハーサル室	50
図工・美術	8. 3	おがき世界子ども美術博物館	40
家庭科（小）	8. 3	愛知県畜産総合センター	24
技術・家庭科（中）	7. 31	六ツ美北中学校	50
英語	7. 31	岡崎勤労福祉会館	80
特殊教育	7. 31	教育研究所（六名会館）	40
視聴覚	7. 31	岡崎市情報ネットワークセンター	50
特別活動（野外活動）	7. 29~31	岡崎市少年自然の家	60
情報教育	7. 31	梅園小学校・根石小学校	40
学校図書館教育	7. 31	岡崎市民会館	80
学校保健	8. 4	健康科学総合センター	45



▲中学校総合体育大会水泳競技 — 葵中プール（6月20日）



フォト・ヒストリー 岡崎の教育

3・4年生歓迎式 (昭和51年)

・表紙写真 竜美丘小 山田亮盛
・カット 葵 中 小林義和

昭和五十年四月一日、岡崎市三十五番目の小学校として「緑丘小学校」は産声を上げた。完工当時、校舎一棟は間に合わず、三・四年生は旧学区の美合小学校で授業を受けるといふ分離生活を余儀なくされたのである。

「緑丘は一つ」という連帯意識を作るために、「木曜集会」「土曜日緑丘教室登校」などに、当時の職員は苦勞したようである。

翌年二月二十六日、校舎は増築され、校庭で歓迎の式を行い、分離教室は解消された。



写真提供 緑丘小



- *メス化する自然 デボラ・キャドバリー 集英社 ￥2100
- *話の味は人の味 永崎 一則・編 PHP研究所 ￥1300
- *今こそ日本人が見直すべき教育勅語 濤川 栄太 しま書房 ￥1600
- *一生は短い 一日は長い 藤本 義一 佼成出版社 ￥1400

*プロ教師の道 河上 亮一 洋泉社 ￥1748

中学校勤務を経験した教師ならば、本書の状況論のどのページを開けても、「そうだ。こんなこともある」と思えるほど、今の中学校現場を書き表している。

ところで、プロとは、「ある事柄に精通している専門家のことである」と国語辞典にある。教師は、プロ根性が薄いということばを耳にする。著者は、中学校教師としての実践から、「プロ教師になるための16箇条」を提言している。状況がどうであろうと常にプロ意識は大切であろう。

訪れてみて初めてよさのわかる場所、それが岡崎市美術博物館。ミストサークルの霧の中で弾む子供たちの声を聞いてみると、私たちがどこかに置き忘れてきてしまった何かを思い出させてくれるような気がする。暑さの中でも、大切なものを見失いたくない。

下間や文字も見わかず夜泣石

水原秋桜子

シ オ

うっそうと茂る森の中に入ると、夕暮れになったかのような錯覚さえ起きる。夏の強い日差しも深い木立の中までは届かず、ひんやりとした空気が心地よい。しばし下界の喧噪を忘れる時間が流れる。

ス ア

阿吽あうんの呼吸とはまさに作家と刷り師のことを言う。作家の個性を引き出し、想いを表現する。作家と刷り師の信頼関係があつてこそ作品は生きる。刷り師の優れた技術や豊富な知識と経験が作家に信頼を与える。教師と子供の間にも阿吽の呼吸を求めたい。

涼しげな顔をした子供たちが、夏休み最後のプール開放を終えて帰っていった。プールから聞こえてきた大歓声が消え、再び学校に静けさが戻ってきた。

友だちと水遊びをする時の、あの笑顔
を、二学期も見たい。